

欧米における余暇・レクリエーションに関する
データベースと文献情報検索システムについて

○山口 泰雄 池田 勝
(慶應体育大学)

データベース、文献情報検索システム、余暇・レクリエーション

1. はじめに

工業化社会から情報化社会へ移行しつつある今日、余暇・レクリエーション研究においても、いかに膨大な量の学術情報を整理し、正確な情報を迅速に捉えることが研究活動にとって最も重要な仕事のひとつになってきた。年々発表される余暇・レクリエーションに関する研究レポート、雑誌論文、学位論文、学会発表、単行本などの量は、過去10年間に加速度的に増加し、その全てに目を通すことは今や時間的に到底不可能となっている。

また、余暇・レクリエーション研究の特性上、その文献は体育学とか社会学といった限られた領域だけで扱われることなく、環境科学や経済学、さらには学際相互間の学術的研究 (Interdisciplinary approach) として扱われるようになってきた。最近では、レジャーやレクリエーションに関する情報を必要とするユーザー (利用者) も年々増えており、その範囲も研究者だけでなく、行政担当者や専門指導者、施設のプランナー、さらには多様なレジャー活動を求める一般の人々に至るまで広がってきている。

こうした広範囲なニーズを反映して、北米とヨーロッパを中心に余暇・レクリエーションに関する文献情報システムが整備され、コンピューターによるオンラインシステムをもつデータベースが増えしてきた。さらに、国際的な情報交換の協力体制を進めるために、LINK (Leisure Information Network) と称する「国際余暇情報ネットワーク会議」が組織された。この会議は、世界余暇・レクリエーション協会 (WLR A) の提唱のもとに開かれたものであるが、第1回会議は1980年1月にベルギーのブリュッセルで開催され、第2回会議は1984年10月にパリで開催される。

わが国においても、余暇・レクリエーションの分野における文献情報検索システムの開発が具体化されることが急務である。そこで本研究では、まずデータベースと情報検索システムについて概略し、さらに欧米における余暇・レクリエーションの分野におけるデータベースの内容を検討することによって、わが国の文献情報検索システム開発の基礎資料とする。

2. データベースと情報検索システム

これまでの情報検索は、印刷された情報を累積索引 (Cumulative Index) により行なうものがほとんどであった。これらは、図書館にあるカード目録とか、専門領域を扱う研究者が個別で作成した文献リストなどであった。

しかし、1960年代の後半から70年代にかけて、コンピューター科学の発達に伴ないオンライン・システムを導入した情報検索システムが開発され普及してきた。情報検索システムは、「情報という重要な資源の利用と、情報の生産という2面から、情報化社会において重要な役割を果たすシステムである」(橋本昌幸、1972) といわれるように、必要な情報を集約し、利用者の要求に応じ、そしてまた新たな情報を生み出していこうとするものである。

ここで注目すべきは、情報検索システムが単に文献さがしのシステムだけでなく、情報を蓄積し、検索・利用し、また新しい情報を蓄積していくという「情報のサイクル化」を有することである。それゆえ、情報検索システムの長所をフルに生かせば、データベースによって研究者の業績、研究テーマの変遷、そして学位論文の内容といった動向を研究するこ

とも可能なわけである。つまり、ファイルされているデータベースから新しい研究が生まれ、インプットされることになる。

データベースは次の3つの特徴をもっている。

1. 異なる業務に使う (多目的)
2. 共同で使う (同時使用)
3. 統合されたデータを使う (統合データ)

多くのデータベースは、学術誌、研究レポート、学会発表、新聞、雑誌、政府刊行物、学位論文、単行本などを情報源としているが、現在アメリカ、カナダだけでも600以上の各種データベースがある。

これらのデータベースの情報サービスを行なっているのがデータバンクと呼ばれ、大手3社は以下のとおりである。

1. DIALOG (Lockheed Information Systems)
2. ORBIT (System Development Corporation)
3. BRS (Bibliographic Retrieval Services)

データベースの検索方法は、依頼されたテーマを検索員が処理する“受託検索方式”と、ターミナル (端末機) を使った“直接検索方式”の2つがある。いずれの方式にしても、ふつうキーワード (Key-word) により検索することが多いが、著者名、文献サイテーションの種類などによっても検索が可能である。例えば、カナダのウォータールー大学にある“余暇・スポーツ社会学文献情報システム (SIRLS)”では、以下の検索システムがある。

1. キーワード (Descriptor : DE)
2. 著者 (Personal Name : PN)
3. 言語 (Language : LA)
4. 年度 (Date : DA)
5. 発行所 (Corporate Name : CN)
6. 論文サイテーションのタイプ (Type : TY)
7. 関連番号 (Related ID : RE)

これらは、単独の方法を用いて検索することももちろん、いくつかの組み合わせも可能である。

最後に、情報検索システムにはシソーラス (Thesaurus) が必要である。シソーラスは、情報検索において検索言語 (キーワード) を管理するための辞書ともいべきものである。シソーラスの役割は、同義語や同音異義語の適切な処理、また個々の主題に対するキーワードの選択などである。

3. 余暇・レクリエーションに関するデータベース

ここでは、まず余暇・レクリエーションに関するデータベースを取り上げ、その主題分野と検索可能なデータバンクを列記してみよう。

- 1) APRISE
(全米レクリエーション公園協会による余暇・レクリエーションに関する文献情報) - DIALOG, ORBIT

- 2) Comprehensive Dissertation Index
(歌米の人文・社会・自然科学分野の学位論文) -
DIALOG, ORBIT, BRS
- 3) Enviroline :Environment Information Center, Inc.
(世界の環境問題全般) -DIALOG, ORBIT
- 4) ERIC :Educational Resources Information Center
(教育全般に関する文献) -DIALOG, ORBIT
, BRS
- 5) Leisure, Recreation and Tourism Abstracts
(英連邦農業局による観光・レクリエーションに関する
文献情報) -DIALOG, BRS
- 6) Sport and Recreation Index
(カナダ・コーチ協会によるスポーツ・レクリエーション
全般の文献情報) -ORBIT
- 7) SIRLS : Information Retrieval System for the
Sociology of Leisure and Sport
(余暇・スポーツ社会学の文献情報)
- 8) Social Sciences Citation Index
(社会科学全般の文献情報) -DIALOG, BRS
- 9) Sociological Abstracts
(社会学全般の文献情報) -DIALOG, ORBIT,
BRS
- 10) Sportdokumentation
(西ドイツ、Sportwissenschaft によるスポーツ科学の
文献情報)
- 11) Sports Documentation Monthly Bulletin
(イギリス、バーミンガム大学によるスポーツ科学の文
献情報)

上記の他にも、スポーツの記録、記事、商品情報などに関するデータベースもあるが、ここではそれらを省略した。

上記のデータベースの中で、余暇・レクリエーション研究に最も利用しやすく役立つのは、1) APRISE, 2) Leisure, Recreation and Tourism Abstracts 6) Sport and Recreation Index そして 7) SIRLSであろう。それぞれのデータベースのある本部事務局では、受託検索方式によるサービス、さらにフルペーパーのコピー・サービスを行っているところもある。

端末機のない研究者にとって有効な方法は、データベースのある事務局が発行している文献情報に関する定期刊行物を購読することである。代表的な文献情報に関する定期刊行物の連絡先は以下の通りである。

Leisure, Recreation and Tourism Abstracts
Central Sales, Commonwealth Agricultural Bureau
Farnham House, Farnham Royal,
Slough SL2 3BN UK

Sociology of Leisure and Sport Abstracts
Elsevier Scientific Publishing Company
P.O. Box 211, 1000 AE
Amsterdam, The Netherlands

Sport and Recreation Index
Sport Information Resource Centre
333 River Road, Vanier
Ontario, K1L 8B9 Canada

4. おわりに

先行研究の検討という作業は、いかなる分野の研究者にとっても必要不可欠の活動である。わが国の余暇・レクリエーション研究の発展にとって、情報検索システムの開発が一刻も早く具体化される必要がある。

幸いここ数年の情報工学の進歩は、著しいものがある。漢字を使つての検索も可能になっており、今後は和文英文を包括するシソーラスを作成し、歌米の文献情報センターと情報交換できるようなシステムを確立することが課題といえよう。

	PAGE 54
Intergroup	USZ: SMALL-GROUPS
Interaational	USE: MULTI-NATIONAL
INTERPERSONAL-ATTRACTION	HERE are entered works about a actual attraction between individuals. For works about the systematic attempt to quantify the patterns of personal relationships that develop out of a sustained social interaction, USE: SOCIONETRICS
INTERSCHOLASTICS	HERE are entered works about activities e.g. sport competition, that are carried on between high schools. For works about activities carried on between universities or institutions of higher education, USE: INTERCOLLEGIATE
INTRASURAL	HERE are entered works about activity taking place within a school, college, etc.
Introversion	USE: EXTROVERSION:INTROVERSION
INVESTORIES	HERE are entered works that are compilations of research findings. SEE ALSO: OVERVIEW
Inverted-U Hypothesis	USE: MOTIVATION, AROUSAL, PERFORMANCE
Involvement	USE: SPORT-INVOLVEMENT, SOCIAL-PARTICIPATION, SOCIAL-INTERACTION

英文シソーラス (SIRLS)